

NPO法人 相模原こもれびの沿革

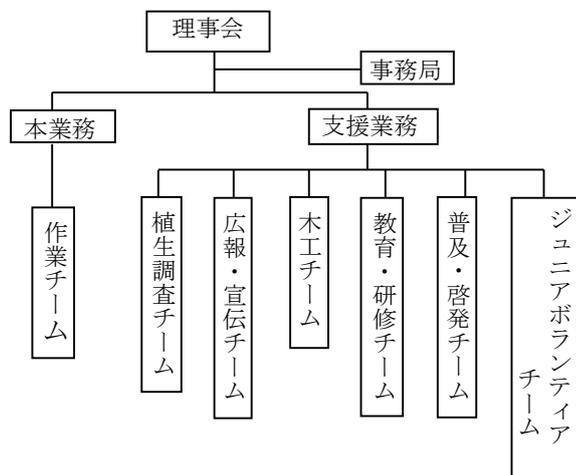
首都圏の近郊緑地特別保全地区に指定され、住宅地に隣接する73haを有する広大な平地林である「相模原木もれびの森」の1部地域について、相模原市とパートナーシップ協定を締結し森づくりとその保全活動を行っています。併せて森をフィールドとして子ども達の健全育成と、人々の自然保護意識の普及啓発について様々な取り組みを行っています。

活動目的 3本柱

- ① 森づくりとその保全 ② 子どもの健全育成 ③ 自然保護の普及啓発

会の組織・体制

*組織図



*役員

理事長・・・1名
副理事長・・・1名
理事・・・5名以上
監事・・・2名

*会員構成及び年会費

正会員 2000円
賛助会員 1000円

正会員にはヘルメット、鋸貸与

*作業機材

保全作業：チェーンソー、刈払い機、鋸
チルホール、鉋、手鎌、斧
木工作业：ログミル、丸鋸、ポール盤
ドリル、ジグソー、サンダー
備品類：コンプレッサー、発電機、一輪車
リヤカー、ヘルメット、テント

*諸規定

- ・チーム運営規定
- ・諸手当、慶弔費定
- ・イベント講師料とグッズ製作手数料覚書

*作業マニュアル ・安全のしおり ・間伐作業標準 ・下刈り作業標準 ・樹林内の発生材片付けマニュアル
・シイタケホダ木作成マニュアル ・散策路杭打ち作業マニュアル ・カントリーヘッジの作り方

年 賦

- 2001・2002年（H13・14年）12月…第1・2期森林ボランティア養成員募集及び養成開始
2005年（H17年）4月…相模原市とパートナーシップ協定締結
2006年（H18年）11月…NPO法人「相模原こもれび」認可・スタート
2008年（H19年）4月…神奈川県県民協働事業「定着型ボランティア」登録、活動開始
2009年（H20年）4月…木もれびの森内県有地活動開始
2010年（H22年）5月…第21回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞
2011年（H23年）9月…第3回「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」選定
10月…第31回「緑の都市賞」都市緑化機構会長賞受賞
2018年（H30年）4月…第12回「みどりの式典」内閣総理大臣賞受賞

人員・経費の推移

年 度	在籍人員	年間経費	備 考
2005・2006年	60・50	637・971千円	イオン助成金授受
2008年	68	1,053千円	花王助成金授受
2010年	68	618千円	
2011年	70	534千円	百選助成金授受
2012年	70	582千円	百選助成金授受・西部信金助成授受
2013年	71	638千円	提案事業「木もれびの森ガイド」作成
2014年	75	449千円	
2015年	72	600千円	神奈川県もり・みず市民事業支援補助金授受
2016年	77	1,167千円	//
2017年	74	747千円	//
2018年	73	810千円	//

提案事業「木もれびの森」案内看板製作

年間活動内容

- *活動日時 毎月第2土曜日・第4水曜日 9時～15時（6月～9月は12時まで）
第3日曜日 9時～12時 雨天中止
- *集合場所 活動地 A イヌシデ広場

・森づくりとその保全活動

年間を通じ下刈り、枯損木伐木、間伐、植樹、散策路整備、植樹、林内整備等をそれぞれ適宜実施しています。又、企業のCSR活動、みどりの少年団活動、ボーイスカウト奉仕活動等外部団体への支援活動の中で保全作業を行っています。

・子どもの健全育成活動

相模原市青少年健全育成協議会と協働し近隣の小中学生を対象として行うジュニアボランティア活動、近隣の小・中・高校の環境学習支援、みどりの少年団活動支援等、森をフィールドとした体験教育で次代を担う子ども達を育成する活動を年間を通し行っています。

・普及啓発活動

神奈川県、相模原市、公民館および環境団体の主催する環境保全、自然環境保護の普及啓発イベントに参加し、活動紹介や会員募集を行うと共に財源確保のために木工品の販売等の取り組みを行っています。又、自然観察会、森の保全作業の体験講座等を開催し、多くの人々に森に親しむ機会を提供することにより、森を守る意識を喚起し保全活動の担い手の育成を図っています。

・森の恵みの提供

木もれびの森で得られた間伐材を利用した木工作品や椎茸のホダ木の提供、クラフトやリース作りの場の提供、丸太切り体験の場の提供などを実施しています。これらの活動により会の運営資金を調達しており、自主的な安定した活動の継続を図っています。

・作業の安全について

作業での安全が活動の中で最も重要な課題です。器具類による怪我や、スズメバチの被害、伐木時の事故など、あってはならないことです。

そのため「相模原こもれび」では安全のためのマニュアルを全員が所持し、安全の意識高揚に努めています。

特にチェーンソーによる伐採や刈払機による下刈りは正しい使用ができるよう、作業にあたる人は公の機関による、講習会での訓練を受けるとともに、作業の場では同伴者のお互いが注意、確認を徹底して作業するようにしています。

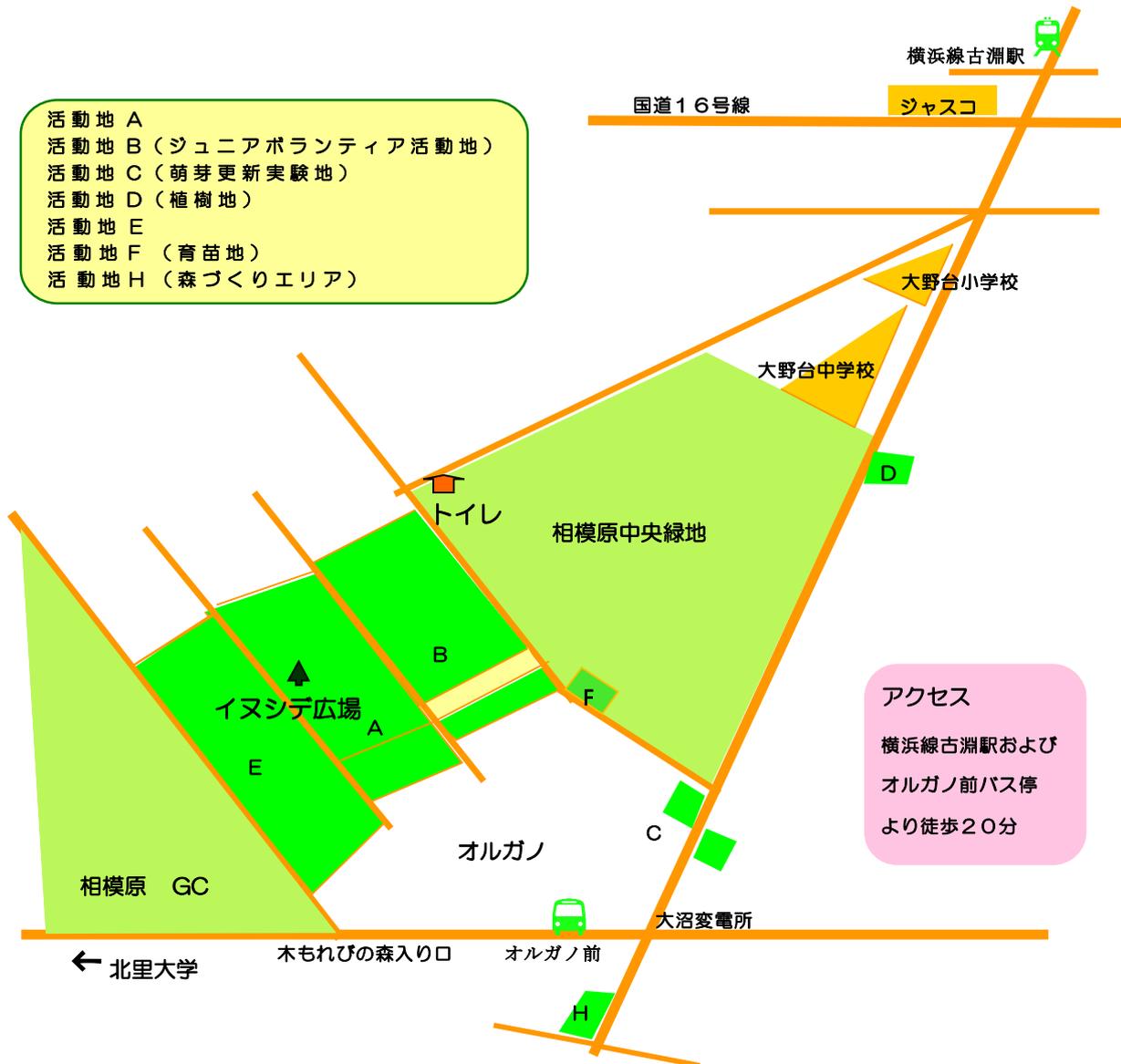
木もれびの森のこれから

近年、世界的規模で自然環境の大切さが叫ばれているなか、相模原市の貴重な財産である「木もれびの森」は、市民が緑にふれあう場として多くの人々が容易に訪れ、憩い、癒され、学び、楽しむことが出来る明るい安全な森であることが求められています。そして将来まで残していかなければなりません。それには継続した保全活動が必要です。衰退の進んでいる木もれびの森は放置すると常緑樹の鬱蒼とした暗い森に戻っていきます。そうならないように、年間を通じ保全作業を行い、植生の世代交代を的確に遂行し多様な生物が生息する豊かな明るい森として維持し守っていかなければなりません。それには多くの人々が森を大切にしたいを共有すると共に守っていく行動力が重要です。多くの人々のご理解とご協力を得て活動を継続していきたい。

外部関係団体

相模原市：環境共生部水みどり環境課、環境政策課、協働推進課、大野台公民館
環境団体：まち・みどり公社、市民活動サポートセンター、環境情報センター、
地球温暖化対策協議会、生物多様性ネットワーク

相模原こもれび活動地



NPO法人 相模原こもれび 理事長 高橋 孝子

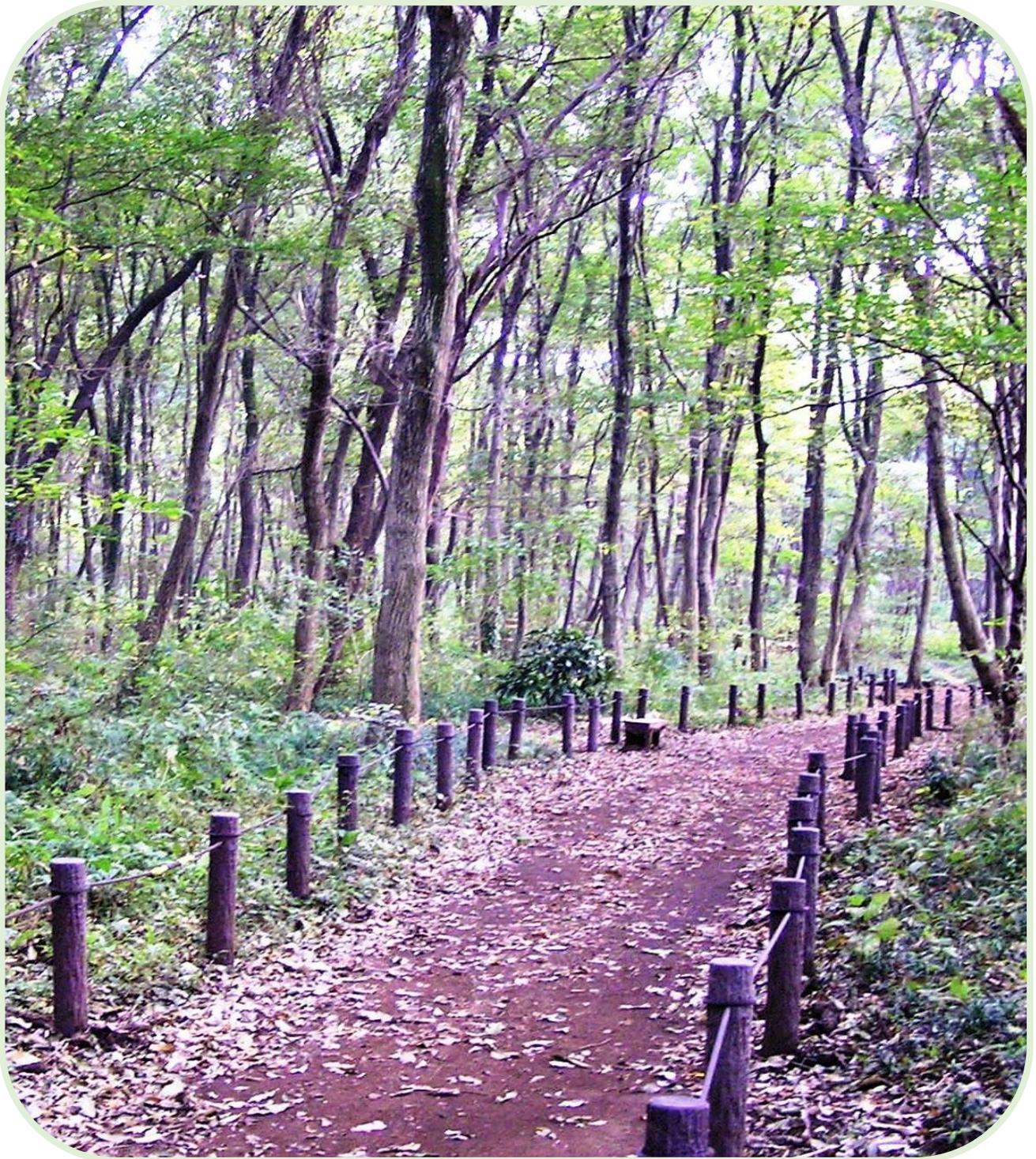
本部：相模原市南区東大沼2-2-85

電話：090-4629-4843

ホームページ：<http://npo-komorebi.com/>



**豊かな森を守り、育てる！
それは私たちの喜びです**



NPO法人 「相模原こもれび」